

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : アナライズHO-5 B液
会社名 : 株式会社アスカメディカル
住所 : 大阪市城東区関目 2 丁目 12-10
電話 : 06-6939-3011
FAX : 06-6939-3225
推奨用途 : アナライズHO-5 用B液
使用上の制限 : 上記の用途以外には使用しないこと。使用期限：製造日より 1 年

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類、GHS ラベル要素

GHS 分類

物理化学的危険性

金属腐食性物質：区分 1

健康に対する有害性

急性毒性（吸入）：区分 2

皮膚腐食性/刺激性：区分 1

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 1

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 1（呼吸器系）

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分 1（呼吸器系）

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)：区分 3

水生環境有害性 長期(慢性)：区分 1

(注) 記載なき GHS 分類区分：区分に該当しない/分類できない

GHS ラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

金属腐食のおそれ

吸入すると生命に危険

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

臓器の障害（呼吸器系）

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（呼吸器系）

水生生物に有害

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

環境への放出を避けること。

他の容器に移し替えないこと。

ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。

漏出物を回収すること。

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

貯蔵

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：

混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
硫酸	7664-93-9	40 - 41	1-430

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

この成分表に記載なき成分は、日本政府による GHS 分類結果一覧に掲載されていません。

危険有害成分

毒物及び劇物取締法「劇物」該当成分

硫酸

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

硫酸

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

硫酸

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

被災者を温め、安静にする。

直ちに医師の診察/手当てを受けること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

直ちに医師に連絡する。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

眼の中に全て水が行き届くように洗浄する。

直ちに医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

無理に吐かせないこと。

意識のある場合はコップ 1 - 2 杯の水を飲ませる。

意識のない被災者には何も飲物を与えてはならない。

直ちに医師に連絡すること。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

(吸入もしくは飲み込んだ場合の症状)

呼吸器の刺激/炎症、消化管の刺激/炎症

(皮膚に付着もしくは目に入った場合の症状)

皮膚刺激、皮膚腐食、眼刺激、重篤な眼の損傷

応急措置をする者の保護

救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項

腐食性/刺激性製品。寸秒でも早く皮膚の洗浄を始め、触れた物質を完全に洗い流す必要がある。

洗浄を始めるのが遅れると障害を増大させるおそれがある。

吸入した場合は、48時間は医療的観察下におくことが必要である。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

この製品自体は燃焼しない。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし

特有の危険有害性

加熱すると容器が爆発するおそれがある。

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

霧状水により容器を冷却する。

安全に対処できるならば、製品容器を火災危険区域から移動すること。

消火作業は、可能な限り風上から行う。

容器内に水を入れてはいけない。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

風上から作業し、風下の人を退避させる。

漏出物に触れたり、その上を歩いたりしないこと。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、容器に回収する。

多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。

回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

二次災害の防止策

物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。

漏出物を回収すること。

安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
(局所排気、全体換気)

排気/換気設備を設ける。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

保護手袋/保護衣/保護面を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

接触回避

塩基、強酸化性物質、還元性物質、金属、可燃物との接触を避けること。

衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

取扱い後はよく手を洗う。

保管

安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

施錠して保管すること。

(避けるべき保管条件)

金属腐食のおそれがある。金属容器に保管してはならない。

安全な容器包装材料

他の容器に移し替えないこと。

耐酸性密閉容器

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度：データなし

許容濃度

(硫酸)

日本産衛学会(2000) (最大許容濃度) 1mg/m³

(硫酸)

ACGIH(2004) TWA: 0.2mg/m³(T) (肺機能)

ばく露防止

設備対策

密閉された装置を使用する。

排気/換気設備を設ける。

洗眼設備を設ける。

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。推奨材質：非浸透性もしくは耐化学品ゴム

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：液体

色：無色、透明

臭い：無臭

臭いの閾値：データなし

融点/凝固点：データなし

沸点又は初留点：データなし

沸点範囲：データなし

可燃性（ガス、液体及び固体）：燃焼しない

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：適用外

引火点：燃焼しない

自然発火点：適用外

分解温度：データなし

pH：pH <= 2

動粘性率：データなし

溶解度：

水に対する溶解度：混和する

溶媒に対する溶解度：データなし

n-オクタノール/水分配係数：データなし

蒸気圧：データなし

密度及び/又は相対密度：データなし

相対ガス密度(空気=1)：データなし

粒子特性：適用外

10. 安定性及び反応性

反応性

塩基と激しく反応し発熱する。

水と混合すると発熱する。

多くの金属と反応して、可燃性の水素を発生する。

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

塩基と激しく反応し発熱する。

水と混合すると発熱する。

多くの金属と反応して、可燃性の水素を発生する。

避けるべき条件

避けるべき条件データなし

混触危険物質

塩基、強酸化性物質、還元性物質、金属、可燃物

危険有害な分解生成物

熱分解により以下の物質を生成する。

硫黄酸化物

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性（経口）

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(硫酸)

rat LD50=2140mg/kg (SIDS, 2001)

急性毒性（経皮）

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

急性毒性（吸入）

[製品]

区分 2, 吸入すると生命に危険

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(硫酸)

mist: rat LC50=0.347mg/L/4hr (SIDS, 2001)

労働基準法：疾病化学物質

硫酸

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[製品]

区分 1, 重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷

[製品データ]

[pHに基づく分類根拠]

pH \leq 2 であることから、皮膚腐食性/刺激性：区分 1 に分類した。

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(硫酸)

腐食性物質

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

区分 1, 重篤な眼の損傷

[製品データ]

[pHに基づく分類根拠]

pH \leq 2 であることから、眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 1 に分類した。

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(硫酸)

ヒト 重篤な損傷 (ATSDR, 1998)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

皮膚感作性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

生殖細胞変異原性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

発がん性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

[IARC]

(硫酸)

Group 1 : ヒトに対して発がん性がある

[ACGIH]

(硫酸)

A2(2004) : ヒト発がん性の疑いがある

生殖毒性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

[製品]

区分 1, 臓器の障害

[成分データ]

[区分 1]

[日本公表根拠データ]

(硫酸)

呼吸器系 (ATSDR, 1998)

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

[製品]

区分 1, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

[成分データ]

[区分 1]

[日本公表根拠データ]

(硫酸)

呼吸器系 (ATSDR, 1998)

誤えん有害性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[製品]

区分 3, 水生生物に有害

区分 1, 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(硫酸)

魚類 (ブルーギル) LC50 (pH3.25-3.5)=16-28mg/L/96hr (OECD SIDS, 2001)

水生環境有害性 長期(慢性)

[日本公表根拠データ]

(硫酸)

魚類 (カダヤシ) NOEC(成長) (pH6.0)=0.025mg/L/45days (OECD SIDS, 2001)

水溶解度

(硫酸)

混和する (ICSC, 2000)

残留性・分解性

残留性・分解性データなし

生体蓄積性
生体蓄積性データなし
土壌中の移動性
土壌中の移動性データなし
他の有害影響
オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
承認された廃棄物集積場で処理する。
下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号または ID 番号 : 2796
正式輸送名 :
硫酸(濃度が 51 質量%以下のものに限る。)
分類または区分 : 8
容器等級 : II
指針番号: 157

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号または ID 番号 : 2796
正式輸送名 :
硫酸(濃度が 51 質量%以下のものに限る。)
分類または区分 : 8
容器等級 : II

IATA (航空危険物規則書)

国連番号または ID 番号 : 2796
正式輸送名 :
硫酸(濃度が 51 質量%以下のものに限る。)
分類または区分 : 8
危険性ラベル : Corrosive
容器等級 : II

環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当) : 該当

特別の安全対策

特別の安全対策:データなし

MARPOL 73/78 付属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

有害液体物質(Y類)
硫酸

MARPOL 条約付属書 V - HME(海洋環境に有害)

IMO 規則に従うばら積みでの海上輸送は適用されない。

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法

腐食性物質 分類 8

航空法

腐食性物質 分類 8

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法

劇物（令第2条）

硫酸(41%) (法令番号 104)

労働安全衛生法

特化則 特定化学物質 第3類

硫酸

有機則に該当しない

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

硫酸(別表第9の613)

名称通知危険/有害物

硫酸(別表第9の613)

腐食性液体（規則第326条）

硫酸

化学物質管理促進(PRTR)法

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

化審法における特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

大気汚染防止法

特定物質 政令第10条第1号から第28号

硫酸(政令第10条第18号)

水質汚濁防止法

指定物質

硫酸

法令番号 15

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN

IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)

IATA 航空危険物規則書 第64版 (2023年)

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2022 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2022 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

厚生労働省 基安化発 0111 第1号(令和4年1月11日)

Supplier's data/information

GESTIS-Stoffdatenbank

Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載した GHS 分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和3年度 (2021年度)) です。